

望ましい集団活動の活性化と自主的・実践的な態度を育てる特別活動の在り方

日立市立塙山小学校

1 はじめに

塙山小学校では、生活の基本的な目標として「はなやまコール」という合い言葉を作り、教室に掲示している。子供たちは、この目標を毎日確認し、意識しながら生活している。

また、昨年度は集団活動の活性化を目指して、縦割り班活動の取組をスタートさせた。学校行事の中に組み込んで活動する中で、異学年の交流が進み、集団活動に広がりが出てきた。

今年度は、「はなやまコール」を柱にした委員会活動と、縦割り班活動を広げていくことで、児童が達成感や満足感を得られるような仕掛けをしていこうと考えた。

2 実践事例

(1) はなやまコールを意識した実践

「は」…はっきりあいさつ返事

計画委員会で朝のあいさつ運動（飛び入りボランティアも参加）を実施。

【5月、6月、10月、11月】

あいさつ運動

「な」…なかよく外遊び

縦割り班での遊び【4月、2月】

4月と2月の2回、6年生が計画を立て、
ロング昼休みに縦割り外遊びを行った。

「や」…やる気で勉強・やり抜く清掃

縦割り班による清掃。【常時】

環境福祉委員会がボランティアを募って落ち葉清掃。【10月】

「ま」…まわりの人への思いやり

委員会児童による各種募金活動。【随時】

計画委員会による「仲良くしよう集会」。【3学期】



落ち葉掃き



(2) 縦割り班活動…清掃活動と学校行事とのタイアップ

ア 縦割り清掃

イ 一年生をむかえる会【4月】

第一部は計画委員で計画を立て、全体で行った。

第二部は縦割り班遊びを行い、一年生との交流を図った。

ウ 奉仕活動【11月】

校庭の落ち葉掃き、草取りをロング昼休みに実施した。

1年生を迎える会



3 成果と課題

- ・毎日の縦割り班清掃に取り組むことで、学年を超えた人間関係づくりができた。
- ・委員会の活動に下学年児童がボランティア参加するなど、集団活動の範囲が広がった。
- ・児童が主体となる集団活動のさらなる充実を図りたい。